

※入退会連絡や城館の情報は白石まで！

紀州古城館情報

訂正のお知らせ

前号387号に訂正箇所があります。申し訳ございませんが各自修正をお願いします。

P2 9行目「その東の平野部」→「その西の平野部」

P6 4行目 「特筆すべきはEで」→図中にEがない。

P6下から12行目「水島大二氏は、田尻城は県内最高所に次ぐ高所に築かれた山城（標高822m）で」→750m、P7 14行目 機関紙→機関誌細部の間違いは他にもありますが、内容については以上です。

お知らせ 和歌山城郭調査研究会公開見学会

「紀南の旗頭・湯川氏の本拠 亀山城跡と小松原館跡、城下町跡を歩く」

南北朝期から戦国時代末期にかけて、湯川氏（湯河氏）は御坊市の亀山城と小松原館を本拠として、有田郡から田辺市の沿岸地域を勢力下におく、「紀南の旗頭」と称される紀伊を代表する武家でした。その証しとして居館・小松原館跡は、県下で最大級の一辺200m以上の規模を持ち、発掘調査では、10メートルを超える水堀跡や舶来の陶磁器など多くの生活遺物が検出されています。また文献史学における研究でも、戦国期城下町の様子や詰城（有事に際に立て籠もる山城）の亀山城が戦い場としてだけでなく地域住民に山林資源を供給する用益の場として使われたことなどがわかってきました。

湯川氏は天正13年（1585）3月の羽柴（豊臣）秀吉の紀州攻めによって没落しましたが、館跡の一部や山城跡、城下町の景観などには、往時の湯川氏の権勢をしのぶことができます。今回の見学会では近年の研究成果をふまえながら、改めて亀山城跡と小松原館跡、城下町跡を歩きます。

1・日時 2025年1月19日（日） 13時20分御坊駅集合 解散17時頃

参考 JRの時間 下り 和歌山駅発 普通 12:00⇒御坊駅着 13:12

和歌山駅発 特急 12:18⇒御坊駅着 13:04

上り 田辺駅発 普通 12:18⇒御坊駅着 13:08

田辺駅発 特急 12:32⇒御坊駅着 13:03 ※駅周辺にコインパーキング、有料駐

車場があります。

2・順路 御坊駅⇒亀山城跡（比高100m）⇒小松原館跡⇒城下町（法林寺など）⇒御坊駅

雨天時は、御坊駅から小松原館跡と城下町であった街区やゆかりの寺院を歩きます

3・案内 新谷和之（当会委員・近畿大学文芸学部准教授）・松本崇秀（当会委員）

4・参加費 300円（資料代、保険代）

5・その他 山城跡を歩きますので、歩きやすい服装、靴でお越しください。

水分補給を適宜おこなってください。

極寒の時期ですので防寒対策をお願いします。

37.5℃以上の発熱ある方は参加お控えください。

6・問い合わせ先 和歌山城郭調査研究会代表 白石まで

※申し込み不要ですので、当日集合場所にお越しください。